

自遊堂 2F

01 / 02

改訂平面図

登美屋第6ビル 2F / 最新パースとの共通寸法

01 今回の配置変更

会議室を拡張し、休憩室の奥行きを550mm縮小（直前パース比）。
廊下は原図900mmから950mmへ。斜め壁と扉を45°に整形。
受付机は左側面を壁付けにし、トイレ側へ900mmの通路を確保。
原図Cの開き戸表示を削除し、パースどおりカーテンに訂正。
会議室の机は縦置き・端部を奥壁へ。キャビネットは削除。
修理室の奥壁の机・棚は設けず、間仕切り側の天板・棚を維持。

02 主な計画寸法

休憩室 内法	3,010 × 2,288 mm
会議室 床面積	約15.42 m ²
休憩室 床面積	約6.89 m ²
修理室 内法	4,040 × 2,240 mm
受付天板	W3,140 × D640 / H1,050 mm
受付背面通路	880 mm
D1 斜め入口	枠外880 / 枠内800 mm

面積は4,040mm基準内法の概算。開口敷居を除き、家具は控除しない。
受付・廊下は開放区画のため、面積を区切って表示していません。

03 寸法の基準

添付原図の外寸5,400×12,750mm・主区画内寸4,040mmを優先。
原図の旧室別寸法・面積は、今回の区画位置に合わせて更新しています。
間仕切り厚80mm、外壁・サッシ厚はパース用の仮定値です。
原図右側1,360mmは参考表記。全幅・内寸との基準関係は未確認です。
既存扉・階段・設備位置は原図を参照。施工寸法は現地照合が必要です。

凡例 既存躯体 計画間仕切り フローリング モルタル風

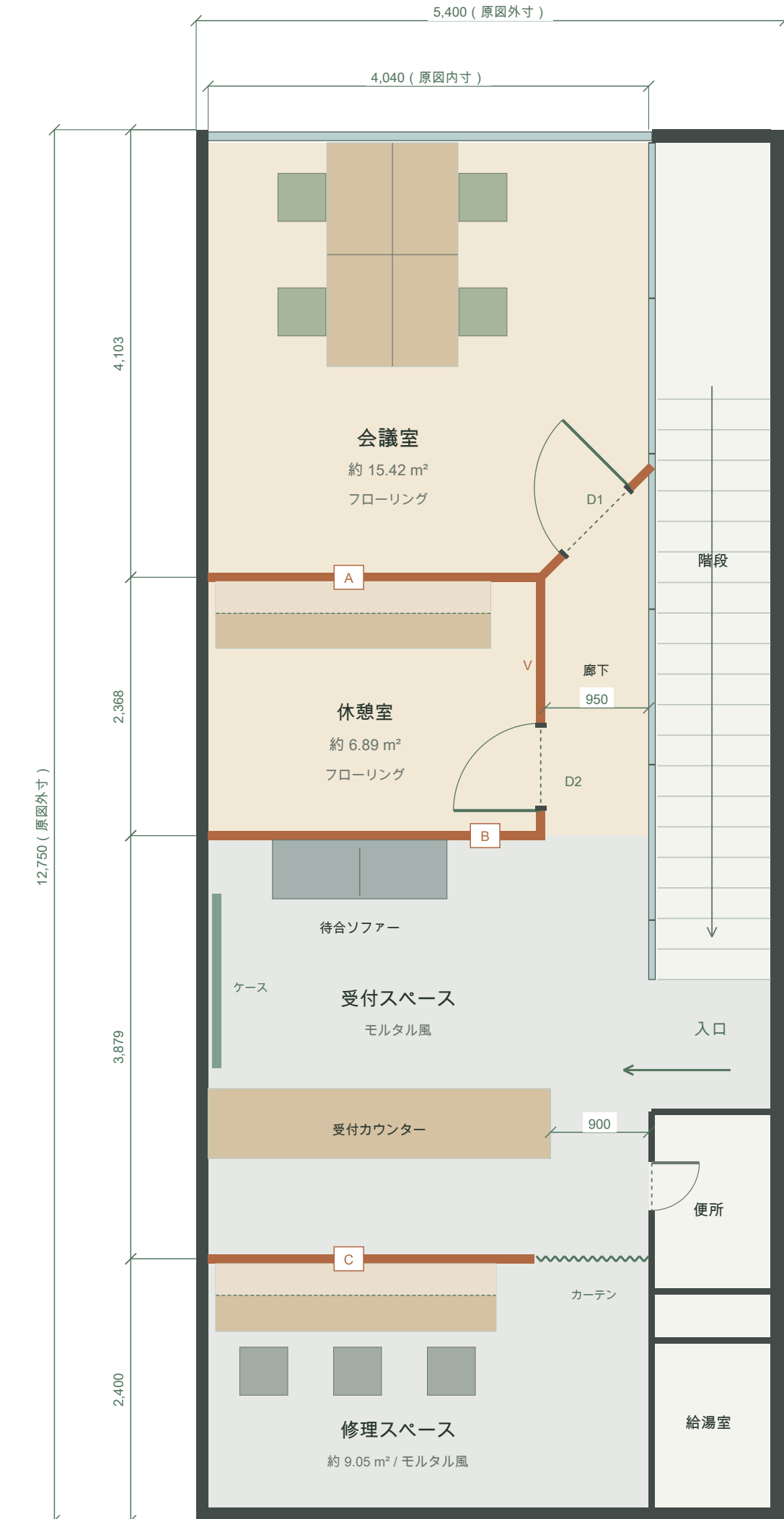
縮尺 1:50 (A3・ 100%印刷時) / 単位 mm

0 m 1 m 2 m

計画図 / 2026.10.09 R4

パース : jiyudo-cg.pages.dev

原図をもとに再作図

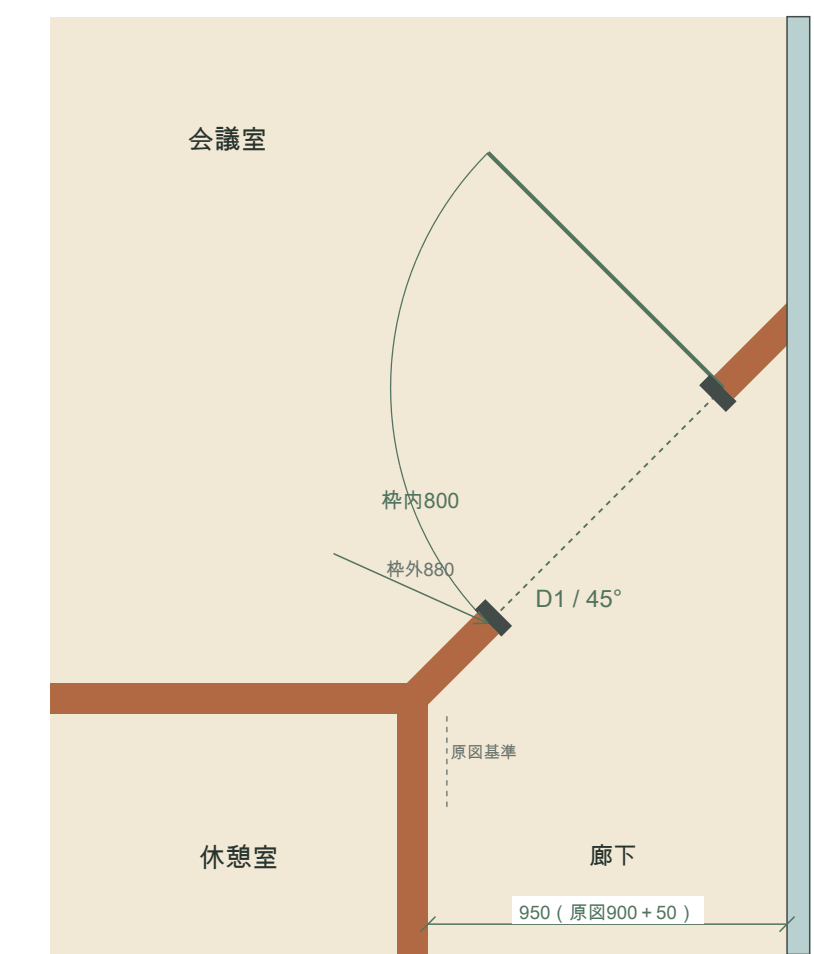


縦の分割寸法は、外端・新設壁芯を結ぶ計画寸法。

パースと同じ座標から作図 / 開口・ 通路・ 区画寸法を照合

A | 会議室の斜め入口と廊下

1:20 (A3・ 100%印刷時)



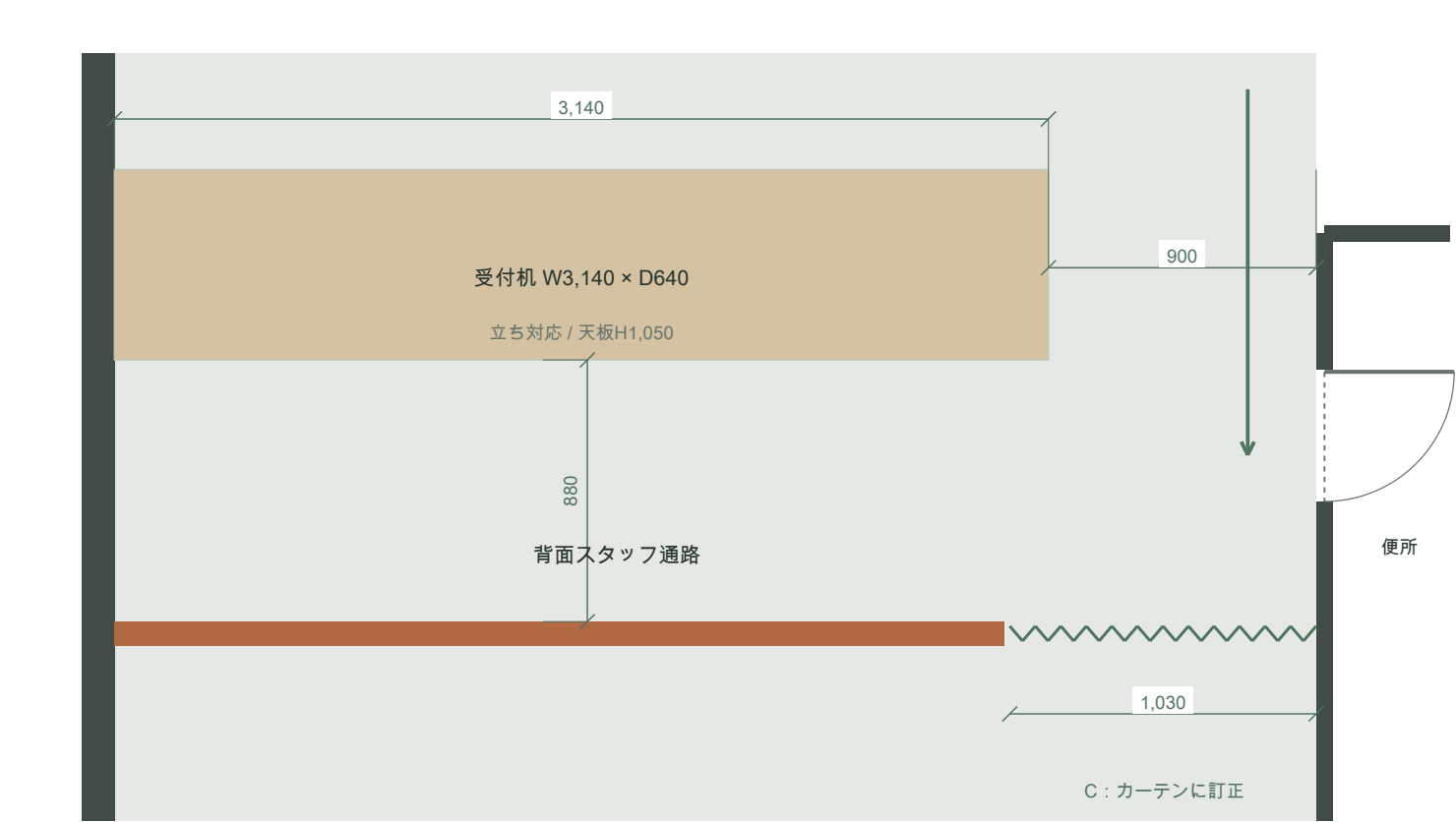
休憩室：幅3,010 × 奥行2,288 = 6.886880 m²

A壁を直前バースより550mm移動。斜め壁は一直線に接続。

斜め壁芯長 約1,442.5 = 壁281.25 + 開口880 + 壁281.25 mm

B | 受付机・ トイレ側通路・ C開口

1:25 (A3・ 100%印刷時)



トイレ側通路：4,040 - 3,140 = 900 mm

背面通路：10,350 - 40 - 9,430 = 880 mm

Cの開き戸・ 開閉軌跡を削除。カーテン開放時は約865mm。

寸法照合

全長の区画基準線	4,103 + 2,368 + 3,879 + 2,400 = 12,750 mm
主区画の幅	3,010 (休憩室) + 80 (壁) + 950 (廊下) = 4,040 mm
D1の枠内開口	880 - 40 - 40 = 800 mm
会議室の面積	4.040 × 3.943 - (1.006568542² ÷ 2) = 約15.423130 m²